

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	認知症の専門職員として家庭的な雰囲気心を心がけ、自立の支援と尊厳の維持を目標として日々、ケアを行なっています。		住み慣れた家、地域となるように地域の方々と多く交流が図れるように活動をしていきたいと考えています。
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	目の届く場所に理念を掲示して、いつでも確認が出来るようにしています。どんな時でも忘れることのないように個々で確認し日々のケアに生かしています。		職員一同がしっかり共有できるように配慮していきたいです。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	誰もがみれる場所に理念を掲示しています。運営推進会議においても、理念に基づいた活動を報告しています。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近所のスーパーなどの買い物や、散歩の際に挨拶を交わしています。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内の行事などに参加し交流が図れるよう取り組んでいます。		地域の年間行事を把握して積極的に事業所側から参加していけるように努めていきたいです。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現状では地域貢献に取り組むまでには至っていません。		地域の中で認知症を理解してもらえるように啓蒙活動をしていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		<p>今後、自己評価は全職員で取り組み、意義を十分に理解した上で、改善点を検討し質の向上に努めたいです。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		<p>運営推進会議で家族や町内会代表などの参加者から、意見や要望を聞き取り、質の向上を図っています。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>新しい情報を教えて頂いたり、参考資料がFAXなどで届くので、それを職員間で確認し、ケアに活用しています。</p> <p>連携を密にすることで様々な情報を取り入れられるように努めていきたいです。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>現状、該当する入居者はいない為、十分に理解しているとは言い難いです。必要時は各関係機関と連携を図っていくようにしています。</p> <p>資料などや研修会への参加で理解を深めて、誰でもしっかりと説明が出来るようにしていくよう努めていきます。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		<p>日々のケアの中で意見交換や注意し合うなどを行い防止に努めています。</p> <p>様々な職員が研修に参加する意識を持てるようにしていきます。忙しい業務の中で抱えるストレスを軽減できるように配慮していきます。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		<p>契約時は重要事項説明書、契約書ともにゆっくりと説明し、疑問点を解消しながら行っています。また、契約後も質問などは常に受け付けて納得してもらえるように配慮しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見や不満などは重く受けとめて、全職員が迅速に検討し改善するように努めています。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	家族様に毎月、手紙を送り、暮らしぶりや医療面(受診や往診結果、薬のことなど)などの近況を報告しています。また、必要時は電話で伝え、「知らなかった」ということがないようにしています。金銭面は家族様の来訪時に領収書とお小遣い帳を確認してもらい、何に使ったかを把握してもらっています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各ユニットの入り口に意見箱を用意しています。また、面会時や電話と通じて意見を伺えるように心がけています。要望や希望は全職員で検討して運営に反映させています。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のカンファレンスや会議を通じて意見や提案を聞き、入居者の対応や業務内容に反映させています。また、管理者やフロアリーダーは職員とコミュニケーションを積極的に図るようにし、意見などを話しやすい関係作りに努めています。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	緊急時は管理者や近隣職員がすぐに対応が取れるようにしています。また、入居者のペースに合わせた勤務調整を行なっています。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	新しい職員が早期で馴染みの関係が築けるように馴染みのある職員がしっかりと指導するようにしています。		職員が楽しみややりがいを持って業務につけるように、職員研修の充実を図ります。また、働きやすい環境とは何かを考えていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>様々な研修の情報を収集し全職員に参加する機会を設けています。2から3ヶ月毎に事業所内や系列会社内で勉強会を開催し他事業者や他ユニットと交流を図りながら一緒に知識を深めています。</p>	<p>職員に育成の為に様々な研修への参加を募り、得た情報や知識を他職員に伝達していけるようにしていきます。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>勉強会を一緒に行い事例検討などを通してお互いのケアの向上につなげています</p>	<p>他事業所(者)と交流の機会を定期的に確保することで情報交換や悩みなどを話せる場を作るように努めたいです。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>管理者やフロアリーダーは職員とコミュニケーションを密に図ることで悩みや現状を理解し精神面での支援を行なっています。</p>	<p>定期的な職員面談を実施します。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>入居者の担当制や係りなどで役割を持ってもらい責任感の中で業務をすることでスキルアップできるよう図っています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居相談の段階で本人や家族より不安やニーズを確認し、本人や家族、事業所管で話し合いながら入居までに様々な手段や方法を提案し安心した上で入居できるように配慮しています。また、生活環境や状況なども考慮して安心できる雰囲気作り心がけています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談の際には本人の様子と共に不安や意向を確認し、家族の気持ちや思いを理解した上で、何が出来るかを検討しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族との話し合い意見交換で主訴や不安を把握し出来ること出来ないことを明確にした上で最良と考えるサービスを提案しています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	常時、気軽に来訪ができるような雰囲気作りを心がけています。また、来訪時には馴染みの関係となれるような関わりをしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	常にコミュニケーションをとり一緒に生活を共にしながら入居者の出来ること、出来ないことを見極めて一緒に行なえるようにしています。また、人生の先輩として尊敬の気持ちを忘れずに感謝の気持ちを持ちながら日々、一緒に過ごすように心がけています		意欲やニーズを引き出せる関わりをして、楽しみのある生活を送れるように支援したいと考えています。
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族が来訪された際には日常生活や活動、健康状態などの近況を伝えています。家族の健康状態や身体状態の把握にも努めて来訪時に簡単な介助などをして、来訪しやすい環境作りを心がけています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ゆったりと入居者・家族様で過ごしてもらえるように心がけ、お茶などを用意し和やかな雰囲気になるように配慮しています。		行事や活動の際に家族様も参加してもらえるような働きかけを考えています。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	お墓参りや外出など、ご家族や知人の方と一緒にいけるようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	職員は入居者一人ひとりの性格や生活歴、趣味などを考慮しながら共通する話題や話のきっかけを作り和やかに話が弾むように配慮しています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	相談など必要時には常時、対応が出来るようにしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々、どのような思い、希望があるのか、現在をどのように感じているのかを意識しながら関わり、入居者や時には家族様を含めて検討し納得をしてもらえるように努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族様の面会時など随時、情報を得られるように心がけて毎月行なうカンファレンスでサービス内容の検討をしています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々違う状態の中で、その日に何が出来るかを判断して、その日に合った生活を送れるように努めています。記録に記載することで総合的に把握し、出来る可能性を引き出すよう心がけています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	日頃の関わりよりニーズや希望をくみ取り、また、家族様からの情報や要望をくみ入れながらカンファレンスや情報交換などで検討しケアプランを作成しています。		介護支援専門員が中心となり、様々な人が意見やアイデアを出しやすい環境を模索していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	日々、入居者の状態を確認しながら記録に記載し毎月のカンファ時に記録などを基に職員で話し合っ一人ひとりの状態に則したケアプランを作成しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	日々の様子は個人記録に記載し全職員が把握しなければいけないことは連絡ノートを使用して情報の共有を図っています。また、勤務交代時には申し送りをして継続したケア、観察が出来るようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人や家族の状況変化に適応できるように支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	適時、ボランティアの参加でアクティビティの充実を図っています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在は要望がなく実施していません。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議にて地域包括支援センターの職員との連携はあるが十分に協働はしていないです。		介護計画での相談や周辺情報、サービスについても情報を聞けるようにしていきたいと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	提携病院の医師が週2回往診に来ています。顔なじみの医師となっている為、相談などが入居者よりしやすい環境にあります。また、訪問看護が週1回、同病院よりきてもらい健康管理などの相談がとれています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門病院などへ通院、受診を支援しています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週2回看護師が来訪(内1回は往診時)され、病状の確認や相談などを行っています。入居者とも顔なじみなり円滑な対応してもらっています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時は入居者の状態変化、経過を密に報告し、スムーズな対応が取れるように心がけています。退院の際には状況を細かく確認して退院後も適切な対応がとれるように努めています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	かかりつけ医や家族と話し合いをくり返し、対応について確認をとっています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	契約時に終末期の話をする他、状態の変化に応じて家族とかかりつけ医と共に、今後起こり得ることに関して相談や意向を確認しと取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	住み替えの際には事業所での情報を家族や関係者に伝え、馴染んだ環境を継続できるように支援しています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	入居者を様々な経験を積んだ人生の先輩として尊敬の気持ちを忘れずに関わるように努めています。		職員は常に入居者との関わりの中で言葉使いや対応などが「これでよかったのか。」と自己啓発できる意識付けをして、記録にも反映できるように図っていきます。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	入居者、個々に合わせ、音量や語調、仕草などを工夫しながらコミュニケーションを図り、本人様の思い引き出せるような声掛けを行なっています。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	行事やアクティビティにもよりますが基本的には自由に過ごしてもらいます。屋外への散歩や鉢への水遣り、畑仕事など本人様の能力や習慣生活歴などを考慮して促しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	決まった理・美容室がある入居者は職員の同行で行き、事業所内での理・美容を希望される方は訪問を利用するなど、本人様に沿った支援に努めています。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者と職員と一緒に調理や盛り付け、食器洗いを行なっています。おやつも入居者と一緒を作るように支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>食べたい物を尋ねたり、飲みたい物は提供時に幾つかの選択肢から選んでもらい、希望に沿った提供を心がけています。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>本人様の希望時や排泄表に基づき排泄パターンの把握に努めて、個々に合ったトイレ誘導をしています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>体調や時間などの希望を聞き、希望に沿った入浴を促しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間は各入居者に任せています。傾眠が強かったり、疲労感が伺える時は日中でも随時休息の時間を設けています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>各入居者の昔、得意であったことや好きなことを行なえるように支援しています。入居者にも日常生活で役割を持ってもらい職員とともに行なっています。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金を持つことの大切さを理解しており、入居者の出来ない部分だけさりげなくサポートするように支援しています。基本的には事業所側で管理させてもらい、必要・希望に応じて使用しています。また、管理は家族様に領収書を確認してもらい、何に使用したのか・いくらかったのかを明確にして確認してもらっています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩や買い物声を掛け促して行き、気分転換やリハビリを行なっています。理・美容室も希望を確認して行っています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	入居者に希望を確認して、個別で外出に行っています。		今後は家族を含む大きな外出・行事を企画を考えていきたい。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	希望時や声を掛けて、電話の使用・手紙の記入などで出来ない部分を補い支援をしています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族様や知人などの来訪もあります。居室や居間などで過ごしてもらっています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居者に負担のない、一人ひとりの人権を尊重した対応をとっています。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ユニットの入り口の鍵は施錠の弊害を理解しているのでかけていません。玄関については防犯の意味もあるので日勤者の出勤時に開錠し遅番職員が退勤時に施錠しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	居室に居る入居者は水分を促すなどをしながら訪室して安全と所在の確認をしています。夜間は定時と必要に応じて細めに訪室を行ない、入居者の安全と所在の確認を行なっています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	石鹸、洗剤などを自己管理できる人は居室で管理してもらい、職員が入居者の使用時に見守り、使用方法、用途について確認して注意を払っています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	日々、職員間で入居者の状態について気になること・危険と思われることを話し合い、事故防止に努めています。また、起こってしまった事故に関しては事故報告書に記入し皆で閲覧し繰り返さないようにしています。		起きてしまった事故について職員で話し合い対応策を検討できるように努めていきます。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防局職員に来てもらい年に1回ほど、救命救急と応急処置の講習を行なっています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	緊急時の連絡網を作成しています。		町内会など地域でどのように働きかけができるかを検討していきます。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居者の状況を手紙や来所時に伝えていきます。リスクに関しても家族と話し合い、今後の対応を職員と話し合う機会を設けていきます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		<p>入居者が無理せずに水分や栄養を摂取できるように嗜好や時間帯などを考慮できるように努めていきます。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	調理器具は使用後すぐに消毒をしています。夜間も1日使用した器具などを消毒しています。3、4日分の食材を自分たちの目で確かめて購入して使用し冷蔵庫で保管しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	建物が少し奥まっておりますが、近隣の方が建物前の自動販売機を使用したり、犬の散歩の方や子供たちが周囲の林で遊ぶ姿がみられて挨拶などを交わしています。玄関には季節の装飾や手作りの表札をかけています。		安心して出入りが出来るほどまでには至っていないが、少しずつ建物の周囲だけではなく、中へも興味を持ってもらえるようにアプローチをかけるように努めています。
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	レースカーテン、カーテンを使用して日光の調整をしています。入居者が昔飾っていた絵画や植物を飾っています。食堂や居間は季節に合わせた装飾を考えて入居者と一緒に飾っています。		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	廊下の端々にゆとりのスペースを設けて椅子を用意している。入居者同士が座って話をしたり、家族などの来訪時に使用しています。		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	今まで家で使い慣れた家具を持ってきてもらうなど、居心地の良い空間になるように心がけています。希望があれば模様替えや家具の購入をしています。		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	都度、換気を行なっています。各居室には湿温計を置き、湿度、温度調整をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない 普段の会話や一つ一つの動作・仕草など、関わる中で常に意向や願いをくみ取れるように努めています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 一緒に過ごす時間(お茶や食事時、散歩など)の中でゆったりと過ごしています
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 生活全般で本人の意思に合うようなペースでの関わりを意識したりタイムスケジュールを組み立てています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい ほとんどいない 過度な介助をするのではなく本人の意思や能力を尊重した手伝いをしています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい ほとんどいない 散歩や外出など、希望に添えるように対応しています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 往診や訪問看護の利用や、本人の希望時や、主治医にも随時受診をしています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 本人の状況や体調に合わせて休息や入床などを柔軟に考えながら支援をしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない 面会時には明るく笑顔での挨拶や対応を心がけて、家族が話しやすい環境を整えながら、悩みや不安などがなく尋ねるようにしています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 数日に1回程度 たまに ほとんどない 小学生がたまに遊びに来ることがある。

サービスの成果に関する項目		取り組みの成果	
項目			
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない	地域の行事などに積極的な参加で交流や理解をしてもらうように働きかけていけるように努めていきます。
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが ほとんどいない	係りや役割を持ち向上心を持って働けるように努めていきます。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	心の中に隠されたニーズや表に出る事のない思いや気持ちを感じとれるように努めていきます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	家族の思いを受け止めてケアに反映できるように努めていきます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)